

殿ヶ谷の神輿 瑞穂町有形民俗文化財

所在地：瑞穂町殿ヶ谷 1034 番地 2



殿ヶ谷地区に伝わる神輿で、毎年7月初旬に行われる瑞穂の夏まつりにおいて、殿ヶ谷地区の鎮守である須賀神社祭礼より御霊代を受け、渡御に用いられています。制作者については、「大門通小傳馬町三丁目海老屋忠蔵藤原睦和」の墨書きが神輿の台輪旧梁に残されています。制作年は神輿道具箱の「慶応寅年」という墨書から、慶応2年(1866)であることがわかります。地元の伝承によれば、当時95円で購入したとされ、明治4年(1871)の新貨幣条例制定以降に購入されたと思われませんが、はっきりとしたことは分かっていません。平成28年度には「平成の大修理」が行われ、建造当時の姿

を忠実に再現する形で、経年劣化した部位の修復が行われました。